

令和4年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

<事業概要>

当法人は、地域の関係機関と緊密に連携・調整を図りながら、夜間・休日における初期救急医療としての夜間休日救急診療所の運営、疾病の早期発見・早期治療に繋げる健診事業や健診結果を踏まえた事後支援事業を実施する健診センターの運営、また、医療従事者の安定的な確保に向けた地域医療従事者の養成を目的とした准看護高等専修学校や歯科衛生士専門学校等の運営を一体的に実施し、市民の皆様の健康維持・増進を図り、安全で安心な医療を受けられる環境を提供するとともに、地域医療の発展に寄与することを目的として各事業を推進しています。

まず、夜間休日救急診療所においては、急病患者的初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として、宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、管理運営を行っており、令和4年度においては、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に適切に対応するため、簡易診療施設を設置するなど診療体制の充実・強化を図るとともに、年末年始を含む12月21日から2月28日においては昼間帯及び準夜帯に同時抗原検査を実施したところです。令和4年度の実患者数については、延べ11,910人、前年度比2,393人、25.1%の増となりました。

健診センターにおいては、疾病を早期に発見し、早期に治療を促すため、市内の事業所等を対象とした「事業所健診」や市から受託している市民の皆様を対象とした「住民健診」のほか、児童・生徒を対象とした「子ども健診」等の各種健康診断の実施など市民の皆様の健康維持・増進に向けた事業を推進しております。これらの健康診断受診者の総件数については、延べ102,805件、前年度比2,396件、2.4%の増となりました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。

また、資格取得の支援及び就業支援に積極的に取り組み、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、毎夜間と日曜祝日の昼間に診療所を開設しております。

また、令和4年度においては、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に適切に対応するため、発熱患者のための簡易診療施設を設置するなど診療体制の充実・強化を図るとともに、年末年始を含む12月21日から2月28日においては昼間帯及び準夜帯に同時抗原検査を実施し、感染拡大の防止や医療供給体制の確保の強化に努めました。

令和4年度の診療所実施状況については、昼間診療を73日、夜間診療(準夜・深夜)を365日実施し、医科・歯科を合わせた総患者数は、前年度比2,393人増の延べ11,910人と増加しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると低い利用水準となっております。

新型コロナウイルスの感染防止策につきましては、引き続き診療スタッフの防護具の適正着用を徹底するとともに、感染疑いの患者が来所した場合は、タブレット・スマホ端末を用いた遠隔診療やコンテナ・プレハブを活用し一般の患者と動線を分離した診療を実施しました。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	73日
		旧盆(8/13～15)			
		年末年始(12/30～1/3)			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

イ スタッフ動員数

(単位：人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	221	84	165	385	95	355	1,305	1,241	64
準夜	798	377	462	1,395	393	1,170	4,595	4,146	449
深夜	730	—	365	730	—	365	2,190	2,190	0
合計	1,749	461	992	2,510	488	1,890	8,090	7,577	513
前年度	1,748	463	998	2,321	488	1,559	7,577		
増減	1	△2	△6	189	0	331	513		

ウ 医科患者利用状況

医科における令和4年度の患者数については、前年度比2,561人、32.0%増の10,574人となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると低い利用水準となっています。

インフルエンザは、例年12月から流行期に入り、1月にピークを迎えますが、令和4年度は、2/13～2/19の週に今シーズンはじめて県内全域における一定点医療機関あたりのインフルエンザの患者報告数が注意報レベル以上となる状況であり、今年度当診療所を受診したインフルエンザ患者数は557人となりました。

また、令和4年度は、冬期の季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和4年12月21日から令和5年2月28日の昼間帯及び準夜帯において、70日間で2,389名の同時抗原検査を実施しました。

① 医科月別受診者数

(単位：人)

①医科月別受診者数

(単位：人)

区分	R4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年	1月	2月	3月	合計	前年度比較		
																日数	増減	
																	患者数	増減率(%)
昼間	日数	5	8	4	6	7	6	6	6	6	8	6	5	73	73	0		
	患者数	109	248	115	235	228	165	182	185	417	861	482	294	3,521	2,385	1,136	47.6	
	1日平均	21.8	31.0	28.8	39.2	32.6	27.5	30.3	30.8	69.5	107.6	80.3	58.8	48.2	32.7	15.5	47.4	
	増減率(%)																	
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0		
	患者数	266	382	349	460	332	319	335	321	539	869	625	520	5,317	3,900	1,417	36.3	
	1日平均	8.9	12.3	11.6	14.8	10.7	10.6	10.8	10.7	17.4	28.0	22.3	16.8	14.6	10.7	3.9	36.4	
	増減率(%)																	
合計	日数	35	39	34	37	38	36	37	36	37	39	34	36	438	438	0		
	患者数	375	630	464	695	560	484	517	506	956	1,730	1,107	814	8,838	6,285	2,553	32.0	
	1日平均	10.7	16.2	13.6	18.8	14.7	13.4	14.5	14.1	26.4	44.4	32.6	22.6	20.3	14.6	3.9	36.4	
	増減率(%)																	
前年度	599	892	619	1,048	867	532	545	636	670	760	358	487	8,013					
増減	△113	△142	△145	△353	△287	△64	△111	△119	△170	△170	△382	△623	△329	2,561				
増減率(%)	△18.9	△15.9	△23.4	△33.7	△33.1	△12.0	△20.4	△18.7	△25.4	△21.1	△106.4	△128.1	△67.4	32.0				

②インフルエンザ患者数 (単位：人)

令和3年度	令和4年度	増減	
		患者数	増減率(%)
0	557	557	100

③医科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	10,211	363	10,574
構成比	96.6%	3.4%	100%
前年度	7,661	352	8,013
増減	2,550	11	2,561
増減率(%)	33.3	3.1	32.0

④転送機関別内訳

(単位:人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇東	宇第一				
転送数	188	64	33	38	6	5	0	0	1	1	11	8	8	363
構成比	51.8%	17.6%	9.1%	10.5%	1.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	3.0%	2.2%	2.2%	100%
前年度	179	56	36	42	2	5	2	0	0	0	19	5	6	352
増減	9	8	△3	△4	4	0	△2	0	1	1	△8	3	2	11
増減率(%)	5.0	14.3	△8.3	△9.5	200.0	0.0	△100.0	0.0	100.0	100.0	△42.1	60.0	33.3	3.1

※後方2次病院…重症者又は入院を必要とする患者の転送先

後方1.5次病院…重症ではないが点滴等が必要で、当所の診療時間内に診療が終了しないと判断した患者等の転送先

⑤感染症疑い患者診療方法別受診件数

診療方法 \ 診療科目	内科	小児科	合計
コンテナ	13	625	638
タブレット・スマホ	2,896	347	3,243
その他	147	2,865	3,012
合計	3,056	3,837	6,893
前年度	1,461	2,099	3,560
増減	1,595	1,738	3,333
増減率(%)	109.2	82.8	93.6

エ 歯科患者利用状況

歯科における令和4年度の患者数については、前年度比168人、11.2%減の1,336人であり、令和元年度から低減傾向が継続している状況です。

① 歯科月別受診者数

(単位：人)

区分	R4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年	1月	2月	3月	合計	前年度比較		
																日数	患者数	増減
昼間	日数	5	8	4	6	7	6	6	6	6	8	6	5	73	73	0		
	患者数	19	64	23	36	46	31	28	29	77	72	26	26	477	552	△75	△13.6	
	1日平均	3.8	8.0	5.8	6.0	6.6	5.2	4.7	4.8	12.8	9.0	4.3	5.2	6.5	7.6	△1.1	△14.5	
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0		
	患者数	65	87	76	70	64	66	61	68	96	86	64	56	859	952	△93	△9.8	
	1日平均	2.2	2.8	2.5	2.3	2.1	2.2	2.0	2.3	3.1	2.8	2.3	1.8	2.4	2.6	△0.2	△7.7	
合計		84	151	99	106	110	97	89	97	173	158	90	82	1,336	1,504	△168	△11.2	
前年度		88	159	87	108	175	86	102	105	194	213	94	93	1,504				
増減		△4	△8	12	△2	△66	11	△13	△8	△21	△55	△4	△11	△168				
増減率(%)		△4.5	△5.0	13.8	△1.9	△37.1	12.8	△12.7	△7.6	△10.8	△25.8	△4.3	△11.8	△11.2				

② 歯科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	1,321	15	1,336
構成比	98.9%	1.1%	100%
前年度	1,489	15	1,504
増減	△168	0	△168
増減率(%)	△11.3	0.0	△11.2

③ 転送機関別内訳 (単位：人)

区分	NHC栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	7	7	1	0	15
構成比	46.7%	46.7%	6.6%	0.0%	100%
前年度	1	13	1	0	15
増減	6	△6	0	0	0
増減率(%)	600.0	△46.2	0.0	0.0	0.0

(2) 診療体制

市民の皆様のニーズを踏まえた初期救急としての医療サービスを提供するため、新型コロナウイルス感染症の感染予防策の徹底を図るとともに、関係医療機関との連携を図りながら体制の充実・強化に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を図りました。また、令和6年度に開始予定の「医師の働き方改革」への対応に取り組みました。

イ 後方2次病院及び後方1.5次病院をはじめ、協力医療機関との連携を図り、患者の円滑な転送に取り組みました。

ウ スタッフの配置については、適切なサービスの提供を前提として、実績や社会環境等を踏まえ、効果的・効率的なスタッフの配置に取り組みました。

エ 感染防止の徹底を図るため、タブレット・スマホ端末を活用した遠隔診療や、PPE（個人用防護具）を装着した診療のほか、令和4年12月21日からは、昼間帯・準夜帯においてドライブスルーでの同時抗原検査と診療を実施し、一般の患者と感染症の疑いがある患者との動線を分離し、診療所内の感染予防策の徹底に取り組みました。また、WEB問診システムを導入し、感染防止を図るとともに、受付時間の短縮を図りました。

オ 医療サービス向上のため、4月、8月、12月に、看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、接遇、WEB問診の導入等の研修を実施しました。また、3月に薬剤師を対象とした研修会を開催いたしました。

(3) 普及・啓発活動

市民の皆様に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため、以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において、「救急医療の適正受診」に関することや、「夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方」について市こども家庭課を通じて周知活動を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク、旧盆、年末年始における夜間休日救急診療所の利用の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また、新聞折り込みにおいても、健康維持に関する啓発記事を、年2回(7月、10月)掲載しました。

ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に、夜間休日救急診療所の利用の仕方や症状に応じた対処法のチラシを子育てサロンの利用者や「赤ちゃん訪問(市保健師訪問指導)」時に市こども保育課を通じて配布しました。

2 健診センター部門

当健診センターは、市民の皆様の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しております。

令和4年度は、健診事業においては、国・市との連携による健診受診活動の強化や、各事業所への働きかけなどにより、事業所健診、住民健診、子ども健診の合計は、前年度比2,396件増の102,805件となりました。

健康支援事業においては、保健指導の必要性やメリットについての十分な周知に至らず、健康支援事業全体で前年度比540件減の2,940件の実施となりました。

また、ホームページやメディアの活用、イベントへの参加、事業団建物や検診車両への横断幕等による掲示など、様々な媒体や機会を捉えた普及・啓発活動に努めるとともに、受診率の向上、経費の削減など、安定的・効率的な事業実施に向けた課題への対応について、継続的に検討を行いました。

令和4年4月より、予約業務から請求業務までを一貫して管理する新たな健診システムが稼働し、事務の効率化やサービスの維持・向上を図りました。

(1) 健診事業

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別	令和4年度		令和3年度		増減		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)	
事業所健診	定期健康診断	18,808	18.3	20,384	20.3	△1,576	△7.7
	生活習慣病予防健診	12,132	11.8	11,281	11.2	851	7.5
	人間ドック	1,694	1.6	1,634	1.6	60	3.7
	特殊健康診断	3,438	3.3	3,230	3.2	208	6.4
	結核検診	4,117	4.0	3,863	3.8	254	6.6
	その他の健診	2,033	2.0	1,788	1.8	245	13.7
	ストレスチェック	5,109	5.0	5,115	5.1	△6	△0.1
	小計	47,331	46.0	47,295	47.1	36	0.1
住民健診	節目健診	2,233	2.2	2,331	2.3	△98	△4.2
	地区健診	6,785	6.6	6,535	6.5	250	3.8
	地区巡回健診	9,620	9.4	8,771	8.7	849	9.7
	乳がん検診	5,938	5.8	6,396	6.4	△458	△7.2
	子宮がん検診	5,250	5.1	5,013	5.0	237	4.7
	特定健康診断単独	107	0.1	158	0.2	△51	△32.3
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他の健診	82	0.1	60	0.1	22	36.7
小計	30,015	29.2	29,264	29.1	751	2.6	
子ども健診	心臓検診	13,668	13.3	13,883	13.8	△215	△1.5
	結核検診	4,309	4.2	4,567	4.5	△258	△5.6
	その他の健診	7,482	7.3	5,400	5.4	2,082	38.6
	小計	25,459	24.8	23,850	23.8	1,609	6.7
合計	102,805	100.0	100,409	100.0	2,396	2.4	

※構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

ア 事業所健診

事業所健診については、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら実施しました。また、各事業所に対しては、定期健康診断の受診者について、より詳細な健診である生活習慣病予防健診への切り替えを勧奨するなど、積極的な働きかけを行ってまいりました。こうした各事業所への働きかけや周知活動の取組みにより、特殊健康診断や結核検診、その他の健診においては回復傾向となり、事業所健診全体で前年度比 36 件、0.1%増の 47,331 件となりました。

イ 住民健診

宇都宮市から受託している住民健診については、市との連携による周知活動の強化に加え、前年度に引き続き、市民ニーズの高い総合健診や早朝健診、出前健診等を、感染症予防対策の徹底を図りながら実施しました。こうした取組みとともに、国を挙げたワクチン接種事業の推進により、受診者の回復傾向もより確かなものとなり、住民健診全体で前年度比 751 件、2.6%増の 30,015 件となりました。

ウ 子ども健診

市内の小学校 1 年生、4 年生及び中学校 1 年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、前年度比 1.5%減の 13,668 件となりましたが、一方で血液検査や尿検査などのその他の健診が大きく増加し、子ども健診全体では、前年度比 1,609 件、6.7%増の 25,459 件となりました。

(2) 健康支援事業

健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	令和 4 年度		令和 3 年度		増減	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	増減	増減率 (%)
特定保健指導	834	28.4	864	24.8	△30	△3.5
その他の事後支援事業	2,106	71.6	2,616	75.2	△510	△19.5
合計	2,940	100.0	3,480	100.0	△540	△15.5

健康支援事業では、事業所健診及び住民健診において、健診日と同日に特定保健指導の初回面接を実施するなど、指導対象者の負担軽減に努めましたが、保健指導の必要性やメリットについての十分な周知に至らず、健康支援事業全体で前年度比 540 件減の 2,940 件の実施となりました。

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

ア 栃木県がん集検協議会精度管理部会へのデータ提供

令和 2 年度の宇都宮市集団健診における発見がん追跡調査後のデータを活用し、宇都宮市民の各がんの傾向をまとめるとともに、令和 3 年度の発見がん追跡調査を実施し、栃木県がん集検協議会精度管理部会へデータの提供を行いました。

イ 「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」への参画

市医師会が主催する「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」に参画して、住民健診の受診者を対象に生活に関するアンケート調査を実施し、調査結果を取りまとめ、データの提供を行いました。

(4) 普及・啓発活動

ア 各種健診の受診率向上への取り組み

① 事業団建物及び検診車両等を利用した市民への周知

市民の皆様が、健康診断を受診する契機とするため、各種運動月間等に合わせて横断幕や掲示ボードを事業団建物及び各検診車両に掲げ、広く市民の皆様にも周知しました。

掲示期間	内 容
4月	健康診断受診勧奨
5月	禁煙
6～8月	健康診断受診勧奨
9月	がん征圧
10月	乳がん
11月	糖尿病

- ② ピンクリボン運動月間における乳がん検診の普及啓発活動
10月のピンクリボン運動月間を利用し、健診会場において、乳がん検診PRポケットティッシュを配布し、乳がん検診のPRを行いました。
- ③ 宇都宮市図書館広告掲載事業への参加
宇都宮市立図書館の返却用しおりに健康診断受診勧奨の広告を掲載し、図書館利用者へコロナ禍における受診控えが軽減されるよう、普及啓発を行いました。
- ④ イベント等への参加
- ・ リレー・フォー・ライフへの参加
がん征圧を目指すチャリティ活動であるリレー・フォー・ライフ2022とちぎに参加し、がん検診受診を啓発するリーフレットの配布などの啓発活動を行いました。
 - ・ 食育フェアへの参加
第17回うつのみや食育フェアにおいて、参加した親子への“おやつの摂り方”についての講話や、子ども向けの“野菜のプラバンキーホルダー”作製コーナーのほか、パネル展示やリーフレットの配布などのPR活動を行いました。
 - ・ うつのみや人づくりフォーラムへの参加
第15回うつのみや人づくりフォーラムにおいて、宮つ子健診センターを開設し、参加した親子の健診スタッフとしての職業体験とともに、パネル展示による健康づくりのPR活動を行いました。

イ 結果データの活用

市内の小中学校児童・生徒を対象に実施した令和4年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、令和4年12月に市内小中学校養護教員宛に配布しました。

ウ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ 元気アップ通信・ヘルスアップレター

テーマ：①「睡眠の“時間”と“質”の確保」②「腸内環境を整える」③「目を大切にする生活習慣」④「with コロナ時代の健康づくり」

(5) 精度管理の向上

ア 健診スタッフの技術の向上

人間ドック学会等が主催する各種研修会に保健師等が参加し、資質の向上に努めました。

イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼働し、正確なデータを確保できるよう

日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに、再現性の検証等を定期的実施しました。

ウ 外部精度管理の受審

全国労働衛生団体連合会が主催する胸部エックス線検査、腹部超音波検査、労働衛生検査、臨床検査の外部精度管理を受審し、「良好」の評価を得ました。

(6) 安全管理の徹底

ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリ・ハット事例を検証し、原因分析、防止対策等の検討を組織的に進めるとともに、その結果を職員及びスタッフへ周知し、事故防止への意識の向上を図り、安心・安全な健診の実施に努めました。

イ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として、健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため、情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど、個人情報の適正管理に努めました。

(7) 経営の安定化

健診受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営のための検討を継続的に行っています。

(8) 新健診システムの稼働

令和4年4月より、予約業務から請求業務までを一貫して管理する新たな健診システムが稼働しました。新健診システムでは、検査機器のオンライン連携、事後指導の際の健診データの共有などによる事務の効率化や、健診受付時の混雑の解消などサービスの維持・向上が図られました。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置などに努めました。また、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、少子化や看護系大学の増加による全国的な准看護学校の応募者・入学者減の傾向はコロナ禍後の求人増も加わり回復せず、本校においても、令和5年度生の受験者は、前年度より15名減少し18名にとどまり、入学生は17名となりました。定員に対する学生数は、平成29年度から、連続して定員を下回る状況にあります。

(1) 教育実施状況

学年	人数 4年4月 (人)	教育科目（座学講義）				臨地実習			教育実施 時間合計 (時間)
		基礎 科目	専門基礎 科目	専門 科目	合計 (時間)	講師数 (人)	実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	
		国語 外国語 音楽 その他 (時間)	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 その他 (時間)	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護 (時間)					
1年生	24	105	305	415	825	55	238	13	1,063
2年生	20	0	80	250	330		497		827
合計	44	105	385	665	1,155	55	735	13	1,890

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨地実習は受入れ不可や期間短縮の施設が多く、不足分は学内実習で対応した。

(2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問、県内のハローワーク（15か所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（25か所）の訪問をはじめ、県内の児童養護施設や母子生活支援施設所管の社会福祉法人、精神科病院（8か所）を訪問したほか、宇都宮市内の保育園への情報提供を行うとともに、子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年3回（8月休日、9月休日、11月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、県内の高等学校、宇都宮市内の中学校、宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか、インターネットによる募集や学校ツイッターの活用、宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載などにより情報発信に取り組みました。また、宇都宮市立図書館の返却用しおりに広告を掲載しました。

エ 入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担の軽減策としての貸与・給付や返還免除などの国や県の給付金や修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者

に向け丁寧な制度の周知に取り組みました。

(3) 教育環境の充実

ア 令和4年度入学生からの新カリキュラムの授業がスムーズに実施できるよう取り組みました。

イ 生徒指導、相談体制の強化を図るため、栃木県カウンセラー協会の認定カウンセラーによるカウンセリングを月2回実施し、生徒が健全な環境の中で勉学に励めるよう努めました。

ウ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談、保護者との面談を行うとともに、個々の特性に合わせた指導を実施しました。

(4) 教育内容の充実

ア 専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 夏期(8月)研修会(オンライン開催)、12月研修会(オンライン開催)

イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進を図るため、例年8月及び3月に実施している実習指導者会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、個別対応としました。

(5) 実践活動の充実

例年2年生を対象に、准看護師としての見聞を広め、感性を豊かにすることを目的として実施している研修旅行は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会教育研修課長による特別講義を実施しました。

イ 就業支援を行い、看護師学校進学者1名を除く就職希望者19名のうち18名が県内外の医療機関に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1年生の状況

	人数	備考
生徒数	24	入学者 24名 (受験者数 33名)
進路変更等	6	退学者 6名
進級者	18	

イ 2年生の状況

	人数	備考
卒業生	20	
うち准看護師試験合格者	20	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	1	進学率 5.0%
看護師学校進学兼就職者	0	
医療機関就職者	18	就職率 94.7%
就職活動中	1	
その他	0	
合計	20	

ウ 令和5年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語, 一般教養, 作文, 面接

	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推薦入試	令和4年10月25日 (一般教養・作文・面接)	3	3(3)	/
一般入試(第1回)	令和4年12月6日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	9	9(9)	
一般入試(第2回)	令和5年1月24日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	2	2(2)	
一般入試(第3回)	令和5年3月7日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	4	3(3)	
合計		18	17(17)	1.06

※ 令和5年度入学生 17名

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書の整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、授業計画に基づく講義や、病院、介護施設・障害者施設における実習を実施しました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内の歯科医院に加え県内の歯科医院に学生募集案内のポスター掲示を依頼したほか、新聞広告にオープンキャンパスの特集の掲載やJR宇都宮駅や東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示、宇都宮市立図書館の返却用しおりに広告を掲載するなど広報活動の強化に努めました。

(1) 教育実施状況

学年	人数 4年4月 (人)	教育科目（座学講義）					合計 (時間)	講師数 (人)
		基礎分野 (時間)	専門基礎分野 (時間)	専門分野 (時間)	選択・必修分野 (時間)			
1年生	49	105	204	471	30	810	35	
2年生	48	30	30	105	45	210	11	
3年生	40	15	198	423	30	666	10	
合計	137	150	432	999	105	1,686	56	

臨地実習 (施設臨床実習及び介護施設実習含む)		教育 実 施 時 間 合 計 (時間)
実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	
—	—	810
765	41	975
135		801
900	41	2,586

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校等へ学校訪問、資料送付しました。
- イ オープンキャンパスを7回（7月、8月、9月）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進路相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
 - ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市内の全中学校に学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市広報紙へ学生募集案内を掲載（10月、12月）
 - ・ インターネットによる学生募集の広報
 - ・ 新聞広告による学生募集の広報
 - ・ JR宇都宮駅、東武宇都宮駅構内等に学生募集ポスターを掲示
 - ・ 宇都宮市立図書館返却用しおりに広告を掲載

(3) 教育環境の充実

- ア カラーコピー機の更新、口腔内撮影用カメラの購入、授業用プロジェクターの購入など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師・指導教員打合せ会を開催し、実習内容等について協議を行いました（参加者102名）。
- イ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。
- ウ 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」、「シャープニング」、「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ 「フッ化物塗布事業」や「歯の健康教室」へ参加しました。
- ウ 榊ナカニシ（歯科医療関連企業）の本社・工場を見学しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 宇都宮市内に就業した成績優秀者を表彰しました。
- ウ 11月より就業支援を行い、就職希望者40名全員が就職しました。

(7) 学生の状況

ア 1年生（第45期生）の状況

	人数	備 考
学生数	49	入学者 48名（受験者数 57名）、 留年者 1名
進路変更等	3	退学者 3名
進級者	46	

イ 2年生（第44期生）の状況

	人数	備 考
学生数	48	
進路変更等	1	退学者 1名
進級者	47	

ウ 3年生（第43期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	40	
うち歯科衛生士国家試験合格者	40	合格率 100.0%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	40	就職希望者 40名（就職率 100%）
医療機関就職者（歯科助手）	0	
就職活動中	0	
他分野進学	0	
その他	0	
合 計	40	

エ 令和5年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合、適性検査、面接

試験区分	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入学	令和4年 9月25日	22	20 (20)	/
推薦・特別入学	令和4年10月13日	16	16 (16)	
一般入学(第1回)	令和5年 1月19日	8	7 (6)	
一般入学(第2回)	令和5年 2月12日	1	1 (0)	
一般入学(第3回)	未実施	—	— (-)	
合 計		47	44 (42)	1.07

※ 入学定員 50名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。

5 その他の事項

(1) 理事会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 理事会定例会	令和4年 5月31日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 令和3年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び 決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦につ いて 議案第3号 令和4年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会	令和4年 6月23日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事長, 同副理事長, 同常 務理事の選定について
第3回 理事会定例会	令和4年 12月20日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 専決処分した事件の承認について 議案第3号 専決処分した事件の承認について 議案第4号 令和4年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第4 号)について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専 門学校臨床実習施設の変更について
第4回 理事会定例会	令和5年 3月28日	議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 専決処分した事件の承認について 議案第3号 令和4年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第6 号) 議案第4号 令和5年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び 収支予算 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事務局長の選任について

(2) 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	令和4年 6月23日	議案第1号 令和3年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び 決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団監事の選任について

(3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和4年6月23日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和4年8月3日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届出年月日	事項
令和4年6月30日	事業報告等の提出
令和4年8月25日	変更の届出(役員等の変更)
令和5年3月30日	事業計画書等の提出

(5) 役員等に関する事項(令和5年3月31日現在)

役職名	人数	氏名	備考
理事長	1	松本 国彦	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	齋藤 英彦	
理事	7	増山 哲茂	
		遠藤 秀樹	
		北條 雅人	
		高野澤 昇	
		佐藤 齐	令和4年6月23日就任
		齋藤 高藏	
		神林 博明	
監事	2	佐藤 行正	
		大久保教子	令和4年6月23日就任
評議員	10	菅家 透	
		野間 重孝	
		高橋 映夫	
		廣瀬 誠	
		酒井 典久	
		緒方 秀徳	
		杉本 育夫	
		宮崎 務	
		福田 久則	令和4年6月23日就任
		江田 和宏	
合計	22		

※ 評議員阪口勉氏におかれては、令和5年3月15日逝去されました。

(6) 職員に関する事項 (令和5年3月31日現在)

職名 部門	事務局長	次長	課長 学科長 主幹	課長補佐 GL副主幹 副主幹	係長 GL主査 教務主任 主査	主任	主任書記 主任技師	書記 技師	専任教員	嘱託員	合計
	事務局	(1)									1
総務課			1		1		1	1			4
救急診療所			1		2		1			1	5
健診センター											0
事業推進課		(1)		2	3	4	5	2		2	18
健診課			1	2	7	3	3	2			18
准看護学校			(1)		1				2	2	5
歯科衛生士学校			1 (1)			1			2	2	6
合計	0	0	4	4	14	8	10	5	4	8	57

※ 事務局長，健診センター次長，准看護学校学科長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員（括弧内の数字）である。

※ 事業推進課長については，健診センター次長が兼務している。